

医療栄養学部

医療栄養学科



めざす領域

医療分野

医療施設に勤め、医師・看護師などの専門職とも連携しながら、患者さんの栄養管理や栄養指導を行います。

めざす領域

福祉分野

保育園などの児童福祉施設や介護施設で利用者にあわせた適切な食事を提供し、栄養管理を行います。

めざす領域

食品開発

食品、医薬品系の企業などで栄養に関する知識を活用。消費者の健康維持・向上をサポートするための食品を開発します。

めざす領域

食育

成長期の子どもの食育・栄養管理を行う栄養教諭や、地域住民の健康増進に努める行政栄養士をめざします。

めざす領域

教育研究

企業・大学などの研究機関で食品・栄養について研究します。将来的には大学などで管理栄養士・栄養士の育成に携わることもあります。

栄養を考えると、「食」は医療になる。

いま、さまざまな分野で注目されているのが「食」が持つ力の偉大さです。

健康的な食事は、健やかな生活や病気の予防・治療に役立ちます。

だからこそ、登場を期待されるのは、食と栄養、医療を学んだ専門家の存在。

医療と栄養の多彩な知識とチーム連携のスキルが身につく本学科で、

これから幅広い舞台上で活躍する「あしたの管理栄養士」をめざしてみませんか。

【取得できる主な資格・免許】

- ◆ 管理栄養士【国家試験受験資格】
- 栄養教諭一種免許状
- 栄養士
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 食品衛生監視員(任用資格)

求める学生像 ※アドミッションポリシー抜粋

- 医療分野における栄養学を学ぶ意志をもつ人
- 自己表現能力を高めようとする高い志がある人
- 栄養学を学ぶにあたり、必要な基礎学力を修得した人
- 多様性を尊重し、豊かな人間性を持つ人

学びの特色 ※カリキュラムポリシー抜粋

- 全学共通科目においては、豊かな人間性を養う。
- 講義と実習により、高度な専門知識と技能を修得する。
- 実務家教員による実践的な講義と演習を行う。
- 導入分野で、将来の進路に関心をもたせる。
- 臨地実習を行うことで現場で実践できる能力を養う。
- 卒業研究により、課題の発見・問題解決能力を涵養する。
- 専門基礎科目を開講し、栄養学を勉学する意志を高める。
- 他学部との連携科目を開講し、チーム医療を理解する。

4年間で身につく力 ※ディプロマポリシー抜粋

- 栄養学の概念を理解している。健康の維持・増進、疾病の予防・療養、高齢者の低栄養・介護予防に必要な栄養学及び関連学問分野の知識と技能を修得している。
- 栄養と健康に関する論理的な思考ができる。予防医学・治療医学の観点から、諸問題を解決し、地域・医療・福祉における栄養管理・栄養改善を実践できる。
- 地域・医療・福祉における栄養管理・栄養改善に取り組み意欲をもつ。医療を中心とした栄養学及び関連学問分野を生涯学び続ける強い意志をもつ。
- 「全人栄養教育」を実践できる専門職業人として、主体的に課題を見出して解決する能力を身につけている。常に自己を研鑽し続ける姿勢と能力を身につけている。

1 実践的な学びが得られるカリキュラム

他学科や神戸薬科大学と連携し、チーム医療の授業を実施

医療現場で働く管理栄養士は、多職種の医療従事者と円滑にコミュニケーションをとり、栄養管理や栄養改善によって患者さんのQOL (Quality of Life) を高めます。本学科では、初年次より専門基礎分野で幅広い医療の基礎について学び、2年次には医療施設を見学実習するなど、これからの管理栄養士に必要な知識や実践力を養います。3年次からは、看護学科、理学療法学科、神戸薬科大学と連携してチーム医療を学ぶ科目を設けており、他の職種との役割を理解し、医療栄養の学びと融合させて患者さんに最適な治療を行う力を養います。これらの学びは、医療現場だけでなく、管理栄養士として活躍するさまざまなフィールドで必要不可欠な知識・実践力となります。



FEATURES 学科の特徴

1 幅広い知識を学べるカリキュラムで、優れた管理栄養士を育成

資格取得に必要な栄養学に関する科目に加え、医療や疾病を理解する科目・その他の専門職者と協力する方法を学ぶ科目を設置。多様な知識・技術を習得することで、さまざまなフィールドで活躍する管理栄養士をめざせます。

2 他学科や神戸薬科大学と連携し、合同授業でチーム医療を学ぶ

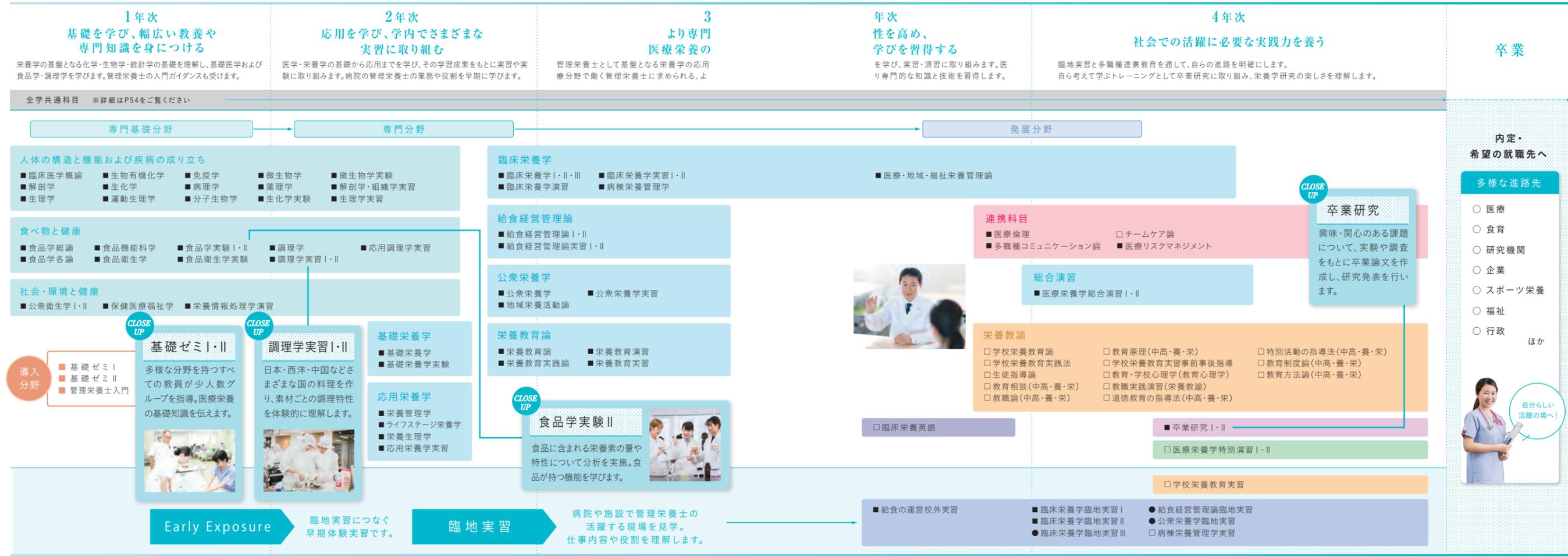
多職種が連携し、さまざまなアプローチで患者さんの症状改善を図る「チーム医療」の学習に力を入れています。看護学科・理学療法学科・神戸薬科大学と連携して行う科目や、病棟で多職種連携を体験できる実習などを用意しています。

3 医療のしくみや疾病について専門的に学べる科目が充実

栄養学の知識は、健康の維持・増進、疾病や高齢者の低栄養予防にかかわる「予防医学分野」での活用が見込めます。本学科では人体の構造や各器官の機能、疾病の原因などを学ぶ医療関連科目を設け、医療の分野で「食」が果たす役割を教えています。

CURRICULUM

カリキュラム



■ 必修科目 ● 選択必修科目 □ 選択科目 (2020年度入学生用カリキュラム) 科目名は代表的なもののみ掲載しており、一部変更になる場合もあります。

医療栄養学科の特徴的な学び

社会で活躍するプロの仕事を知る「管理栄養士入門」

医療機関や保健センター、給食施設など、さまざまな分野で活躍中の管理栄養士の方の話を聞きます。授業を通して、幅広い領域で管理栄養士が果たす使命や役割を学びます。

臨床栄養学実習室で臨床での栄養管理の手法を習得する

模擬病室で呼気ガス分析計・体成分分析装置など専門の測定機器を使用し、対象者の栄養状態を評価。管理栄養士の臨床での仕事を実践的に学べます。

精密機器室で最先端の栄養学研究に必要な分析技術にふれる

栄養学の知識を深めるためには、栄養素の測定に使われている分析機器の理解が必要不可欠。学生実験や卒業研究で実際にふれて原理と技術を習得します。

安心・安全な給食の提供をめざす「給食経営管理論実習」

これからの給食経営管理に必要な知識を理解したうえで、最新機器を使用するシステム化された調理方法を学習。実習を通して、安全・安心な食事を提供する方法を習得します。

学生一人ひとりの習熟度にあわせた個別指導で国家試験に備える

国家試験対策は1年次からスタート。担当のアドバイザー教員が学生一人ひとりの学習状況や今後の課題を把握し、将来の目標のために必要な指導を行います。

2年次に病院や食品工場を見学し、栄養学を学ぶ意欲を高める

医療機関や食品工場など、管理栄養士の学びが生きる多様な仕事現場を見学。工場では慣れ親しんだ食品の製造過程や徹底した衛生管理の方法を学びます。

INTERVIEW

在学生インタビュー

1. 地域の医療・介護に貢献する管理栄養士をめざして。

西山 果希さん [1年]
香川/県立 観音寺第一高等学校出身

幼いころから食えることが好きで、管理栄養士の資格取得をめざそうと考えました。1年次で印象的だった授業は、多様な業界で働く管理栄養士からお話を伺う「管理栄養士入門」。在宅看護や在宅介護をしているご家庭を訪問し、ご本人やご家族に栄養指導を行う管理栄養士のお話を聞きました。「私もそんな仕事がしたい!」と、以来、薬局や病院で働くことが将来の目標です。

2. 食物アレルギーに配慮した食品を開発したい。

中川 香織さん [1年]
熊本/県立 八代高等学校出身

食物アレルギーをもつ妹が安心して食べられる食品を開発できればと、管理栄養士をめざすことにしました。医療栄養学科を選んだのは、アレルギーを含むさまざまな疾患についても学びたいからです。医療分野の授業は難しいこともありますが、質問すれば先生が分かりやすく答えてくださいます。管理栄養士としての知識や技術はもちろん、何にでも積極的に挑戦し、行動力も身につけていきたいです。

専任教員紹介

宇佐美 真 [臨床栄養学、病態代謝学]	春木 敏 [栄養教育論]	川畑 球一 [食品機能学]	橋本 理恵 [給食経営管理論]	伊美友紀子 [基礎栄養学]
寺尾 純二 [食品化学、食品機能学]	天野 信子 [栄養教育論、栄養疫学]	藤井 映子 [臨床栄養学]	小川 亜紀 [基礎栄養学、応用栄養学]	山本 真子 [調理学、給食経営管理論]
柴田 克己 [基礎栄養学]	郡 俊之 [公衆栄養学、栄養疫学]	戸田 明代 [臨床栄養学、給食経営管理論]	吉岡 泰淳 [食品機能学、基礎栄養学]	
堀田 博 [微生物感染症学、免疫学]	東根 裕子 [調理学]	吉原勢津子 [臨床栄養学、給食経営管理論]	西本 幸子 [臨床栄養学]	

2020年3月現在